

## JOYFUL FC 京都 Kids & Junior 指導指針

活動方針である『豊かな子供の育成』『技術の向上』を実現するために、JOYFUL FC 京都が大切にしている必要な要素を指導指針としてまとめました。

### ★ 指導コンセプト

個を活かして「観て・考えて・行動」できる選手を育成します。

サッカーの正解は一つではありません。サッカー選手はその中から自分なりの答えを探し、自分で決めてプレーしなければなりません。子どもたちのこれからの生活でも重要なこの習慣を、サッカーを通じて獲得できるように指導します。ジュニア年代での完成を目指すのではなく、それぞれの選手が多く引き出しを持ってこのクラブから巣立つことを、私たちスタッフは大切にします。

- ・ 『観て』の基本：サッカーにおける局面を理解する……状況を観察して感じられるように
- ・ 『考えて』の基本：原理原則を大切に……考えるための基準をもって判断できるように
- ・ 『行動』の基本：体とボールを自由に扱う……自分の判断で思い描く行動が自然とできるように

### ★ オフザピッチ指導のポイント

- ・ 心：物と心を整理整頓する。サッカーができることに感謝する。周囲の人をリスペクトする。
- ・ 技：自らの努力で、興味をもって楽しんで獲得する。雑にならずに集中して丁寧におこなう。
- ・ 体：サッカー選手として健康管理する。食事や睡眠をきちんと摂る。しっかりケアする。

### ★ オンザピッチ指導のポイント

- ・ 判断を奪わない。失敗を否定しない。最初から答えを教えない。問題は選手たち自身で解決する。
- ・ トレーニングの質を高める。ボールを使う。動きながらプレーする。待ち時間を少なくする。
- ・ トレーニングはゲームで終わる。ゲームではテーマにしたことが獲得できているかを振り返る。
- ・ ゲーム→分析→プランニング→トレーニング&コーチング→ゲームのサイクルでテーマを明確にする。
- ・ 試合は選手が経験する絶好の機会。勝負にこだわりながら、各選手のプレー経験も上げる。

### ★ Kids U5～6で獲得したいこと

『ボールと友達になろう』子どもたちの目線で楽しく遊ぼう

- ・ ボールが転がる、弾む、跳ね返る。ボールと一緒にいろいろな動きをやってみる。
- ・ 屋外でボールを投げたり、つかんだり、蹴ったり、一緒に笑ってはしゃいでみる。

### ★ Kids U7～8で獲得したいこと

『ボールと仲良くしよう』足でボールを扱う楽しさを覚えよう

- ・ ボールを蹴ったり、止めたり、運んだり。難しいけれど出来たら楽しいことを知る。
- ・ 鬼ごっこで相手との関りの楽しさ、スモールゲームでプレーに関わることの楽しさを知る。

### ★ Junior U-9～U-10で獲得したいこと

『ボールを自由に扱おう』ボールを自由にコントロールできる楽しさを伝えよう

- ・ ゴールを目指す、ゴールを守る。ボールを奪う、ボールを奪われない。切り替え。必要な習慣作り。
- ・ 運ぶ、蹴る、止める。動きながらプレーする。相手がいる中でプレーする。テクニックを磨く。
- ・ オン・ザ・ボール、オフ・ザ・ボール。良いポジションを取る。相手や味方の状況を観てプレーする。
- ・ 局面の1対1で負けないことを重視したゲームで、個の力を引き上げる。

### ★ Junior U-11～U-12で獲得したいこと

『サッカーをしよう』引き出しを多く持ってプレーの幅を広げよう

- ・ サッカーをゲームとして楽しむ。チームで戦う。駆け引きを楽しむ。
- ・ スペースを作る、スペースを使う、スペースを埋める、スペースを意識したゲーム。
- ・ ビルドアップ・ボゼッション・突破、チャレンジ&カバー・スライド、それぞれの理解。